

2023年11月1日

中東関係者各位

九門康之

「中東なう」(旧中東レポート) 2023年10月号

中東動向の短信レポートです。

ガザのハマス・イスラエル衝突が日々状況を変えるなか、衝突の中東諸国に与える影響を、政府信用リスク格付を参考に整理し、今後の予想につき私見を述べました。

1. 格付けの現状(政府信用リスク格付け)

10月31日現在、米ムーディーズ社は、各国政府の信用リスクについて「格付け」を付与している。なお、「見通し」については以下の略号を使った。

見通しは「ポジティブ」：状況の改善が期待できる。略号(P)

見通しは「安定的」：状況が安定している。同(S)

見通しは「ネガティブ」：状況の悪化が懸念される。同(N)

● 格付けが高いグループ

アラブ首長国連邦(Aa2 見通しS)、アブダビ首長国(Aa2 見通しS)、カタール(Aa3 見通しP)、サウジアラビア(A1 見通しP)、クウェート(A1 見通しS)、イスラエル(A1 格付け見直し)

● 格付けが中程度かやや低いグループ

モロッコ(Ba1 見通しS)、オマーン(Ba2 見通しP)、ヨルダン(B1 見通しP)、バハレーン(B2 見通しS)

● 格付けが低いグループ

エジプト(Caa1 見通しS)、イラク(Caa1 見通しS)、チュニジア(Caa2 見通しN)、レバノン(C 見通しNA)

2. 今後の予想(小職の私見)

(1) 短期

● 格付けに変化がないか上昇する可能性がある国

衝突がマイナスに作用する国がある一方で、原油など市場の影響がプラスに作用する国がある。ガザの衝突で地政学リスクが高まることを受けて原油価格が高めに推移することが予想される。このため、石油収入が財政・輸出に大きな部分を占めるサウジアラビアなど

湾岸産油国の格付けは現状維持かやや上昇する可能性がある。イラク、バハレーンも原油価格の上昇による外貨収入が増加は、経済の安定に寄与するだろう。

- 格付けが低下する可能性がある国

衝突は、当事者と周辺国の格付けに低下の圧力となる。イスラエルは衝突の当事者である。ムーディーズは格付け見直し中である。エジプト、ヨルダンがイスラエルに隣接しており衝突から難民が流入する可能性があり、結果、財政・治安維持負担など経済への悪影響が懸念される。また、レバノンはずでに格付けが最下位であるが、今後状況がさらに悪化すれば、格付け停止となるだろう。

エジプト、イスラエルはパレスチナ難民で苦い経験を有している。エジプトでは、2014年頃、ガザからトンネルでシナイ半島に侵入したテロリストが「イスラム国」の分派を名乗り、シナイ半島の治安を悪化させた。エジプト軍はガザとの境界に水路を掘りトンネルを水攻めにして、侵入を阻止した経緯がある。今回も、難民と共にハマスがシナイ半島へ移動することを警戒している。ヨルダンでは、1960年代後半、パレスチナ難民とともに流入した反イスラエル抵抗勢力がヨルダン国内に勢力圏を築いたことが背景となり、パレスチナゲリラとヨルダン政府との間に摩擦が生じた。結果、1970年9月のヨルダン内戦に発展した。レバノンでは、近年のサウジアラビアによる政治介入にもかかわらずヒズボラーを中心とするシーア派武装勢力が強く、国内の不安定要因となっている。同勢力がガザでの衝突に便乗して事態を悪化させることが懸念される。

(2) 中長期

ガザでの衝突は、中東北アフリカ諸国の融和の流れを変化させる。ガザでの衝突が終息した段階で、パレスチナでこれまでと全く異なる事態が発生するかもしれないが、現在、その方向性は見えない。2020年のアブラハム合意と、2021年の米軍アフガニスタン撤退以降、中東北アフリカ諸国地域内の緊張緩和が進んだ。2023年はイラン・サウジアラビアの国交が正常化し、シリアがアラブ連盟に復帰するなどの動きが続いた。

今後の変化として、イスラエルとサウジアラビアの関係改善はずでに凍結されたとみられる。他方、トルコと湾岸諸国の関係は衝突と直接関係がないため影響を受けず、トルコの希望もあり経済交流は続くだろう。関係が改善する可能性があるのは、トルコとエジプトである。難民（一部過激勢力を含む）への対応でトルコの経験がエジプトの参考になる。サウジアラビアとイランの関係は、不透明さは残るもののコミュニケーションが活発化しており、親密化する可能性がある。ガザ衝突後、サウジアラビアのムハンマド皇太子がイランのライシ大統領と電話会談したほか、両国外相も電話でコンタクトしている。これらの動きに共通する点は、アラブ諸国が欧米西側勢力の力を借りずに方向性をだしていくという点だ。今回のガザ衝突でも、欧米の姿勢は人命尊重ではあるものの、中東諸国に配慮した発言はみられない。

➤ その他の動き

●サウジアラビア、パキスタンと自由貿易協定●イラク、ヨルダンと電力網を接続●サウジアラビア、PIF がジェッダ再開発に投資●エジプト、ポーランドが直行便再開●エジプト、クレジットカードでの海外からの買い物に金額制限●トルコ、ガザ関連で仲裁外交●アブダビ、政府手続きの英文化を進める。将来は翻訳不要に●ドバイ、集団結婚式に王族列席●ガザ、ハマスの代表がロシア訪問●

ご参考：情報収集手法

本レポートは、主に中東各国の電子メディアを継続してモニターして得た情報を材料にしています。マクロ経済・金融統計数値の出所は、IMF、地場中央銀行統計等です。コメントは筆者の個人的見解です。

以 上